

中小企業景況調査報告書

2026年4月～6月期

高知県商工会連合会

中小企業景況調査

[調査事項]

1. 調査対象

- (1) 調査対象地区
- | | | | | |
|-----|---------|------|------|------|
| 室戸市 | 香美市 | 大豊町 | 本山町 | 土佐地区 |
| いの町 | 春野 | 仁淀川町 | 中土佐町 | 津野町 |
| 梶原町 | 四万十市西土佐 | 三原村 | 大月町 | |
- (2) 調査企業数 150企業
- (3) 回答企業数 149企業 (回答率：99.3%)

2. 調査対象期間

2026年4月～6月期を対象とし、調査時点は2026年6月1日とする。

3. 調査方法

- (1) 商工会の職員による訪問面接調査
- (2) 調査対象地区は市町村人口規模を勘案して行い、
調査対象企業の抽出は業種、規模等有意選出法による。

4. 回答企業数の内訳

業 種	回答企業数	構成比 (%)
製 造 業	31	20.8
建 設 業	25	16.8
小 売 業	41	27.5
サービス業	52	34.9
合 計	149	100.0

注記 本報告書のD Iとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査事項についての増加（上昇、好転、長期化）の企業割合と減少（低下、悪化、短期化）企業割合の差を示すものである。

Ⅰ．産業全体の景況概要

○商工会地域における今期（2026年 4月～ 6月期）の状況

〔製 造 業〕

（D I 値）

期 項目	2026年 1月～ 3月	2026年 4月～ 6月	対 前 期 比
売 上 額	35.5	12.9	22.6ポイント下降
採 算	16.2	△ 9.7	25.9ポイント下降
資 金 繰 り	0.0	△ 22.5	22.5ポイント下降

〔建 設 業〕

（D I 値）

期 項目	2026年 1月～ 3月	2026年 4月～ 6月	対 前 期 比
完 成 工 事 額	△ 37.5	△ 48.0	10.5ポイント下降
採 算	△ 25.0	△ 52.0	27.0ポイント下降
資 金 繰 り	△ 8.3	△ 20.0	11.7ポイント下降

〔小 売 業〕

（D I 値）

期 項目	2026年 1月～ 3月	2026年 4月～ 6月	対 前 期 比
売 上 額	△ 50.0	△ 12.5	37.5ポイント上昇
採 算	△ 28.5	△ 17.5	11.0ポイント上昇
資 金 繰 り	△ 14.3	△ 2.5	11.8ポイント上昇

〔サービス業〕

（D I 値）

期 項目	2026年 1月～ 3月	2026年 4月～ 6月	対 前 期 比
売 上 額	△ 8.0	△ 13.5	5.5ポイント下降
採 算	△ 28.0	△ 32.7	4.7ポイント下降
資 金 繰 り	△ 12.0	△ 3.9	8.1ポイント上昇

○来期見通し(2026年 7月～ 9月期)

（D I 値）

区分 業種	売 上 額 完 成 工 事 額	採 算	資 金 繰 り
製 造 業	19.3	△ 3.2	△ 19.4
建 設 業	△ 36.0	△ 48.0	△ 24.0
小 売 業	△ 19.5	△ 29.2	△ 14.6
サ ー ビ ス 業	1.9	△ 19.2	△ 9.6

2. 産 業 別 景 況

製造業の動向

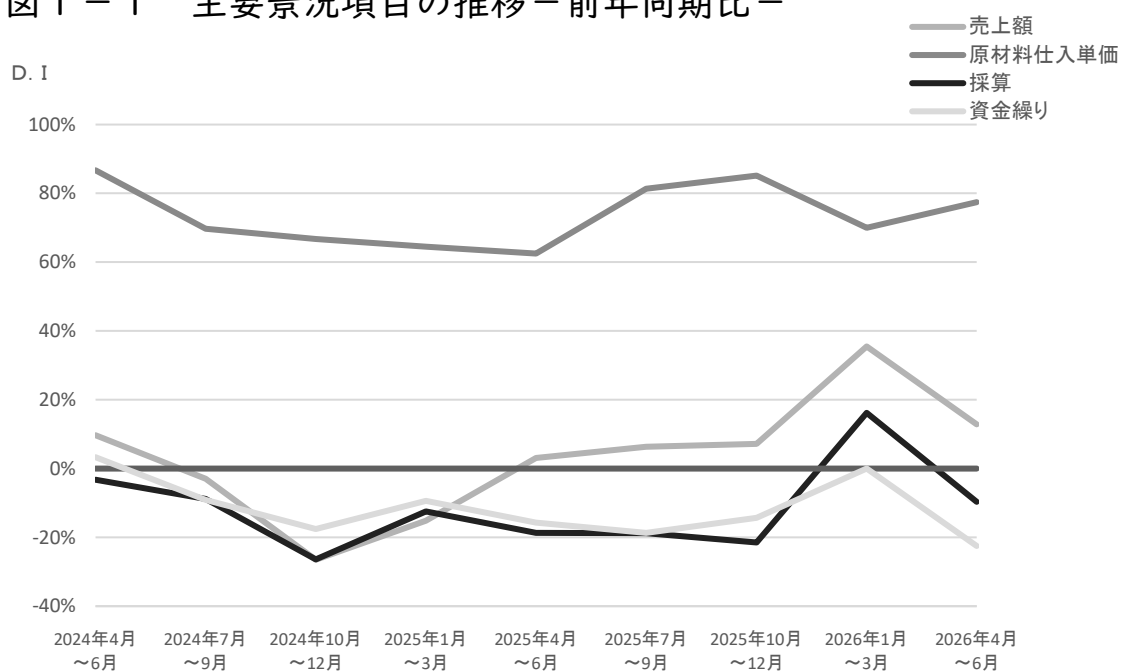
○主要景況項目から見た概要

- ・ 売上額DI値は、35.5→12.9と22.6ポイント下降
(同全国値は、△6.2→△2.4と3.8ポイント上昇)
- ・ 採算DI値は、16.2→△9.7と25.9ポイント下降
(同全国値は、△18.3→△23.8と5.5ポイント下降)
- ・ 資金繰りDI値は、0.0→△22.5と22.5ポイント下降
(同全国値は、△12.5→△15.1と2.6ポイント下降)

今期は、売上額DIでプラス幅が縮小し、採算DIと資金繰りDIがマイナスに悪化した。

来期は、売上額DIでプラス幅が拡大し、採算DIと資金繰りDIでマイナス幅の縮小が見込まれる。

図 1 - 1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2025年4月～6月	2025年7月～9月	2025年10月～12月	2026年1月～3月	2026年4月～6月
売 上 額	3.1	6.3	7.2	35.5	12.9
原材料仕入単価	62.5	81.3	85.2	70.0	77.4
採 算	△ 18.7	△ 18.8	△ 21.5	16.2	△ 9.7
資 金 繰 り	△ 15.7	△ 18.7	△ 14.3	0.0	△ 22.5

図 1 - 2 売上額の状況－前年同期比－

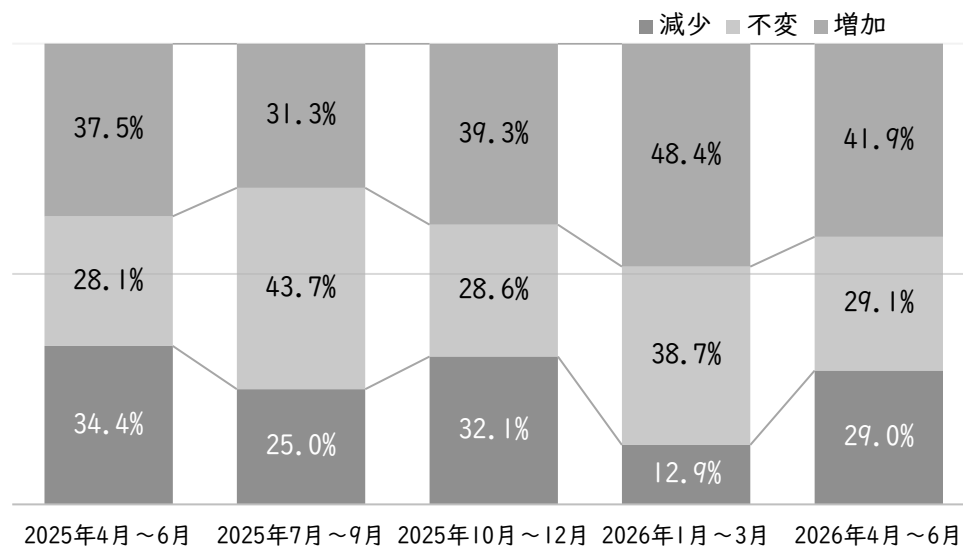


図 1 - 3 採算の状況－前年同期比－

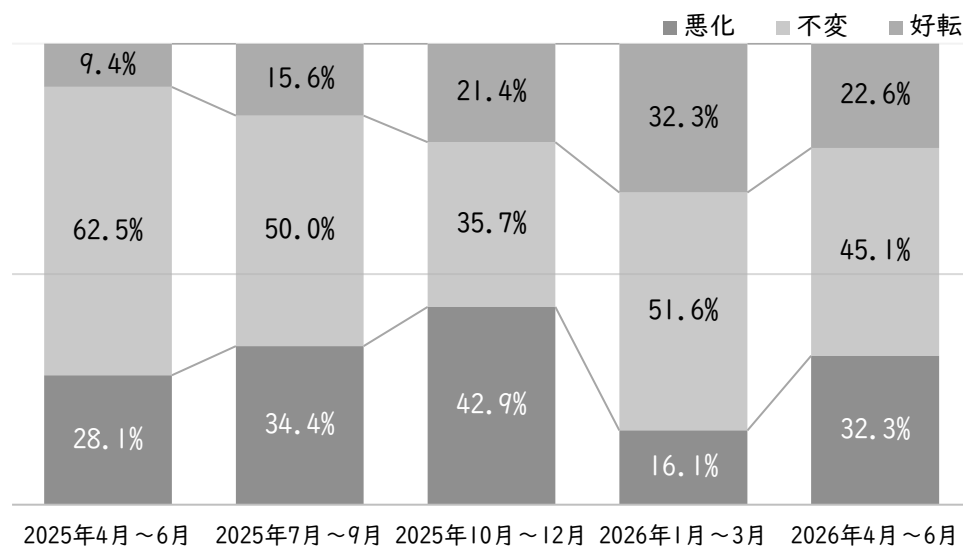
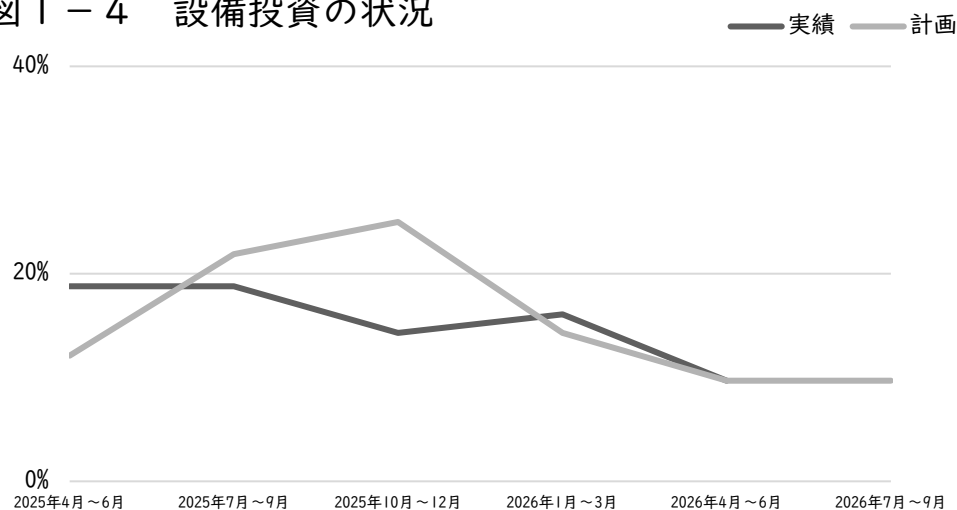


図 Ⅰ－４ 設備投資の状況



(計画)

図 Ⅰ－５ 経営上の問題点の状況（１位と１位～３位）

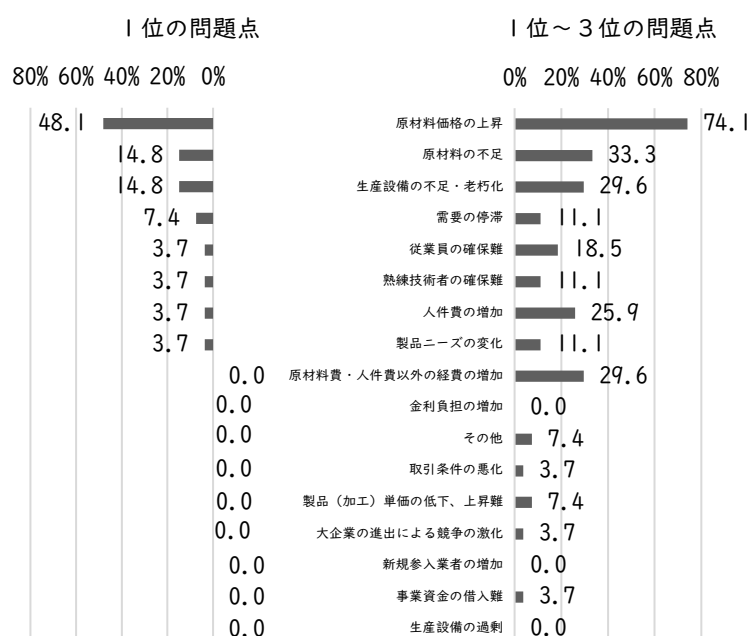


図 Ⅰ－６ 経営上の問題点の推移
（１位の問題点・上位５つ）

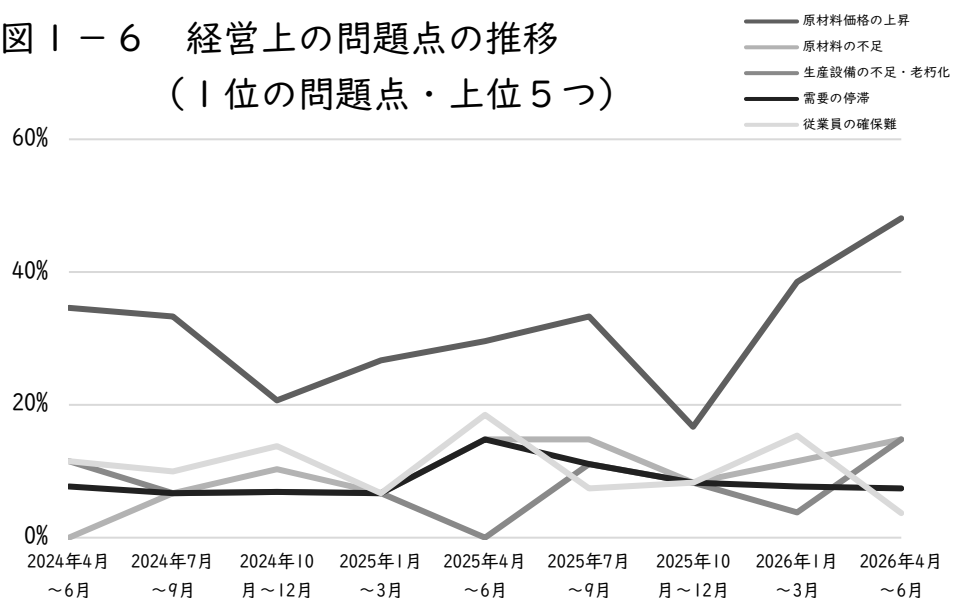


図 Ⅰ－ 7 売上額の状況－前年同期比－

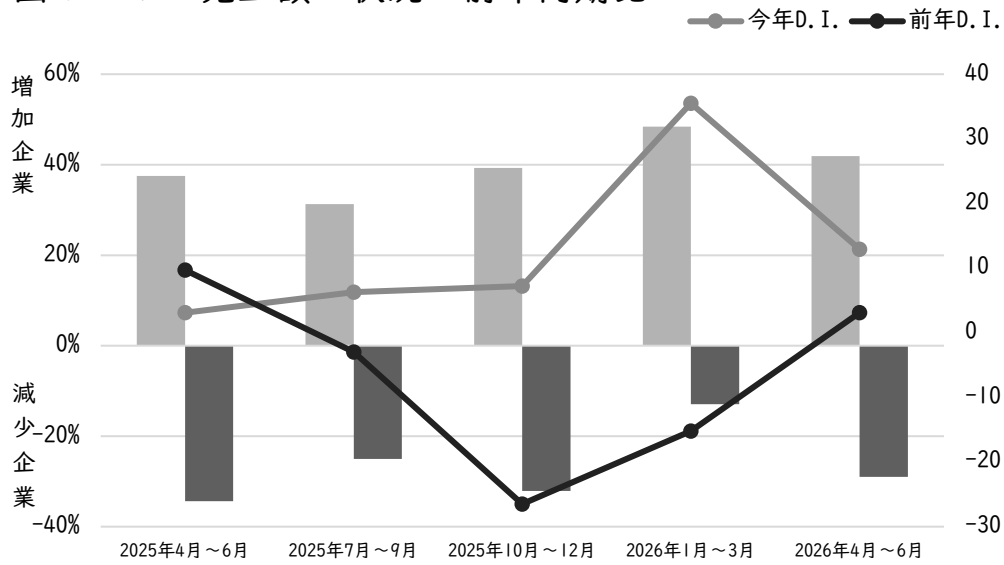
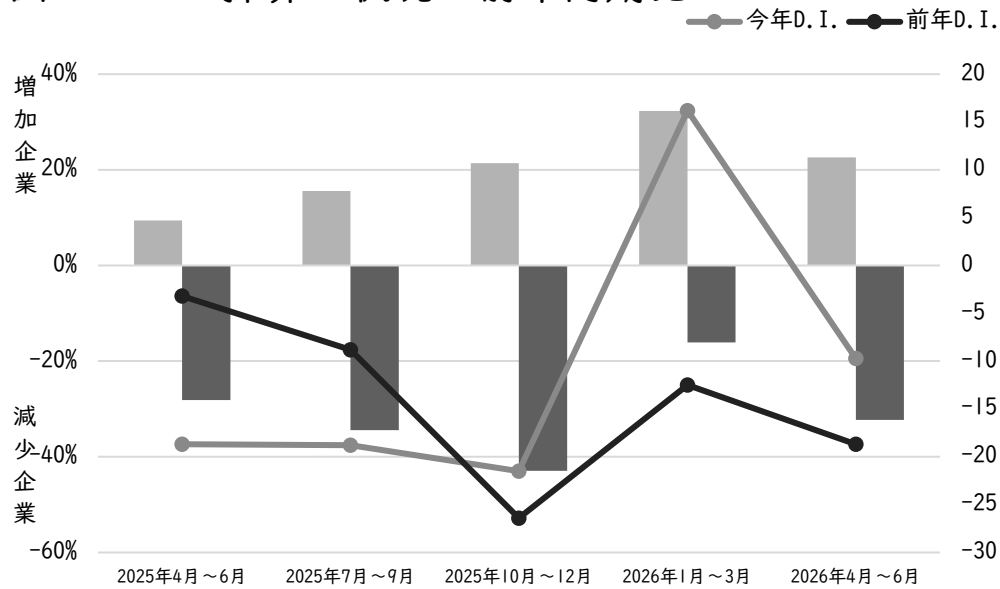


図 Ⅰ－ 8 採算の状況－前年同期比－



建設業の動向

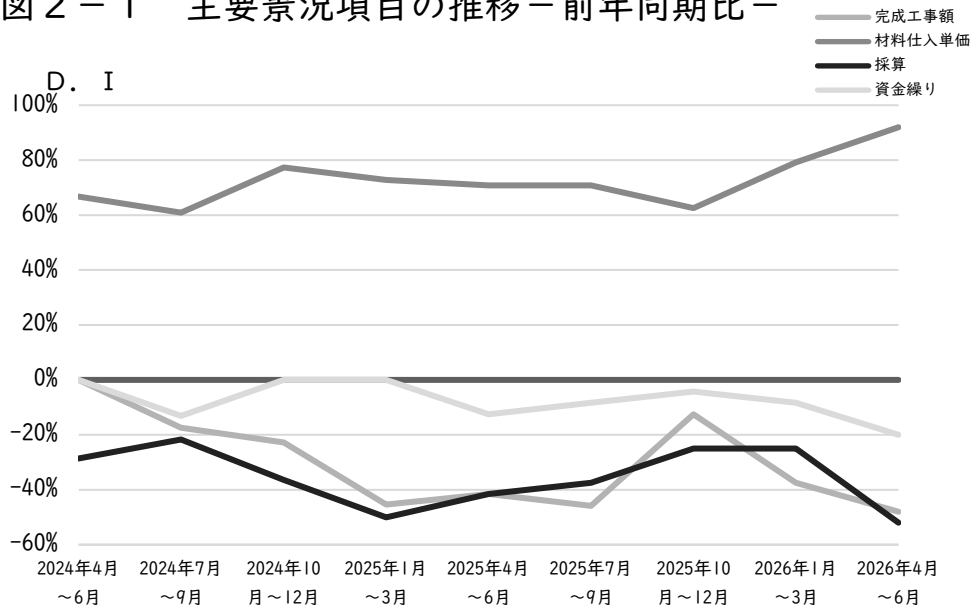
○主要景況項目から見た概要

- ・ 完成工事額DI値は、 $\Delta 37.5 \rightarrow \Delta 48.0$ と10.5ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 10.0 \rightarrow \Delta 18.1$ と8.1ポイント下降)
- ・ 採算DI値は、 $\Delta 25.0 \rightarrow \Delta 52.0$ と27.0ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 20.0 \rightarrow \Delta 33.6$ と13.6ポイント下降)
- ・ 資金繰りDI値は、 $\Delta 8.3 \rightarrow \Delta 20.0$ と11.7ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 8.6 \rightarrow \Delta 13.5$ と4.9ポイント下降)

今期は、完成工事額DIと採算DIと資金繰りDIでマイナス幅が拡大した。

来期は、完成工事額DIと採算DIでマイナス幅が縮小し、資金繰りDIでマイナス幅の拡大が見込まれる。

図 2 - 1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2025年4月～6月	2025年7月～9月	2025年10月～12月	2026年1月～3月	2026年4月～6月
売上額	$\Delta 41.6$	$\Delta 45.9$	$\Delta 12.5$	$\Delta 37.5$	$\Delta 48.0$
原材料仕入単価	70.8	70.8	62.5	79.2	92.0
採算	$\Delta 41.6$	$\Delta 37.5$	$\Delta 25.0$	$\Delta 25.0$	$\Delta 52.0$
資金繰り	$\Delta 12.5$	$\Delta 8.3$	$\Delta 4.2$	$\Delta 8.3$	$\Delta 20.0$

図 2 - 2 完成工事額の状況－前年同期比－

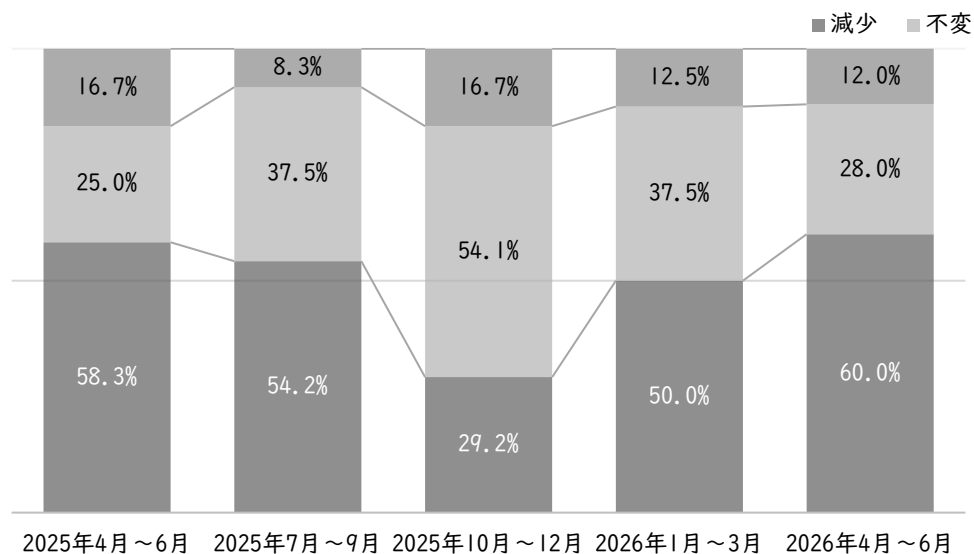


図 2 - 3 採算の状況－前年同期比－

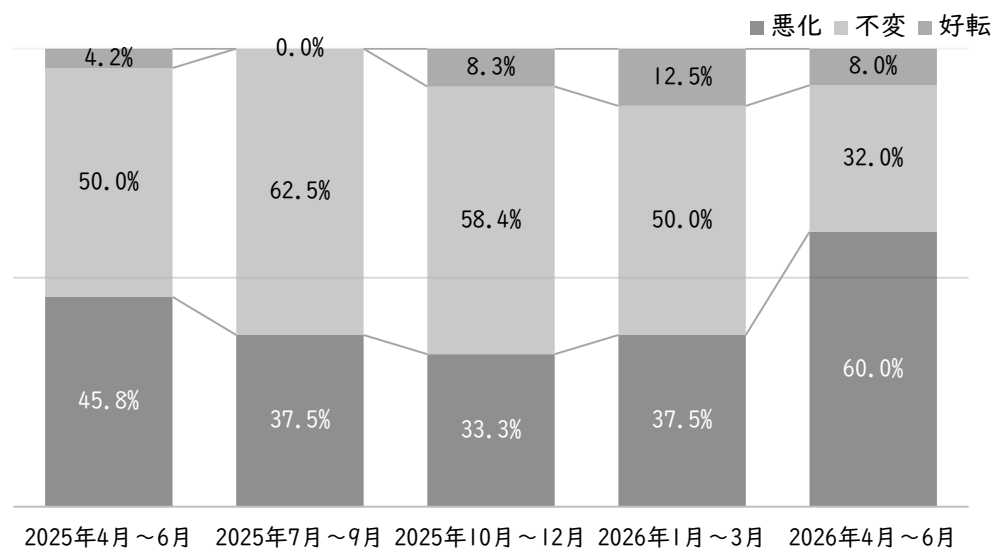
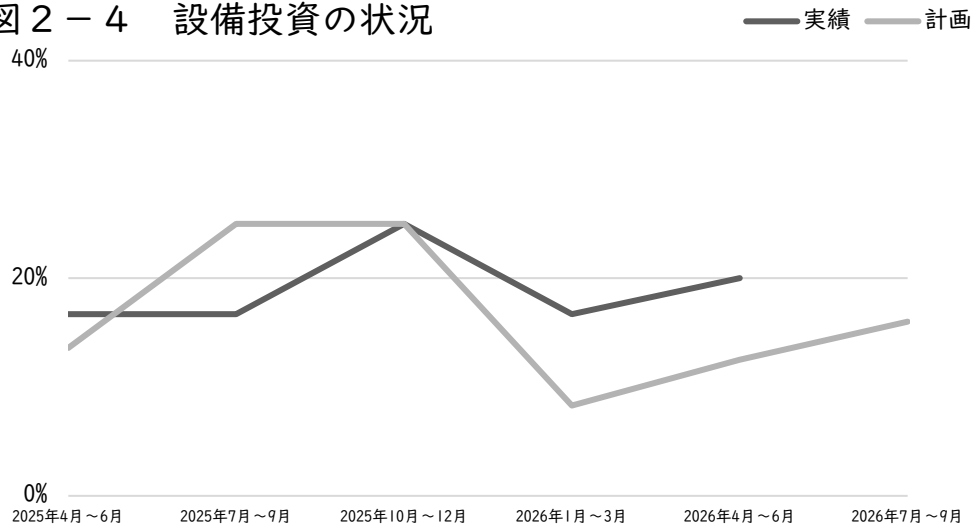


図 2 - 4 設備投資の状況



(計画)

図 2 - 5 経営上の問題点の状況（1位と1位～3位）

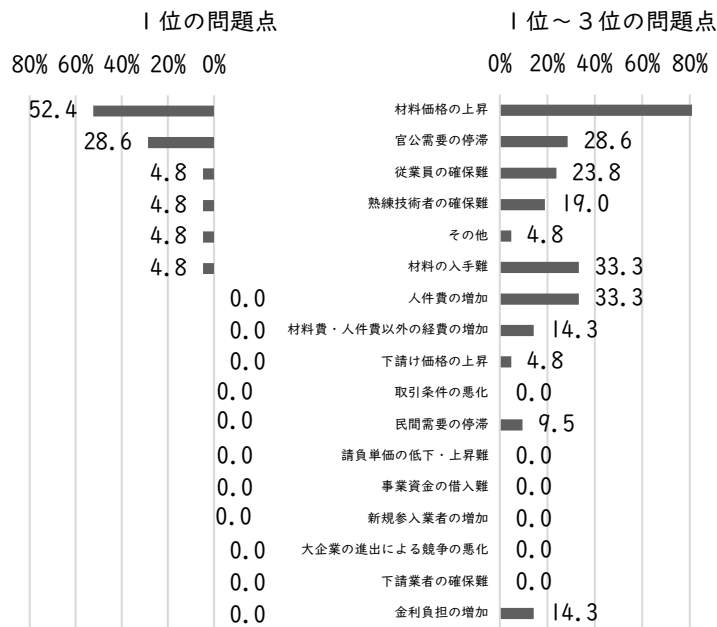


図 2 - 6 経営上の問題点の推移
（1位の問題点・上位5つ）

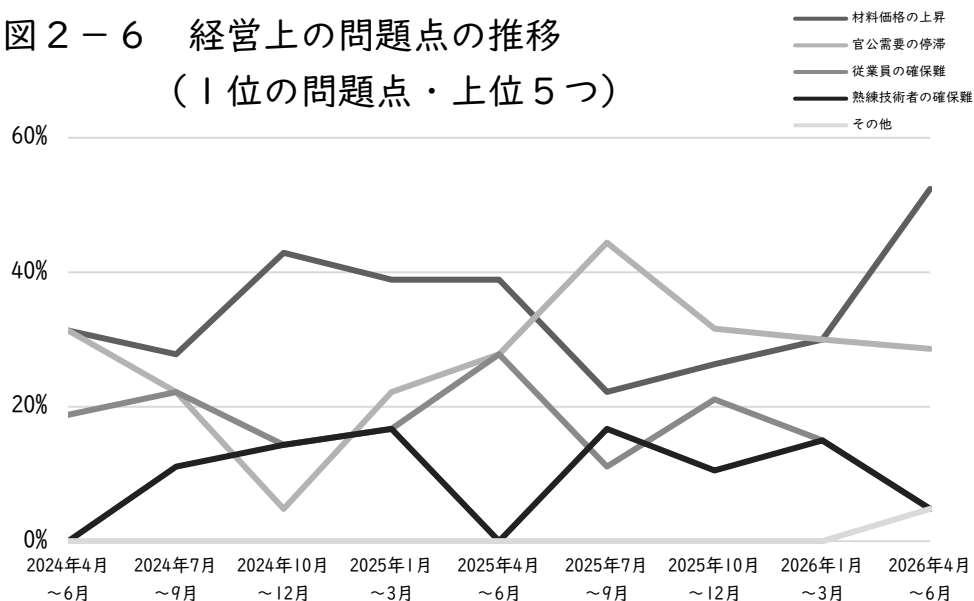


図 2 - 7 完成工事額の状況－前年同期比－

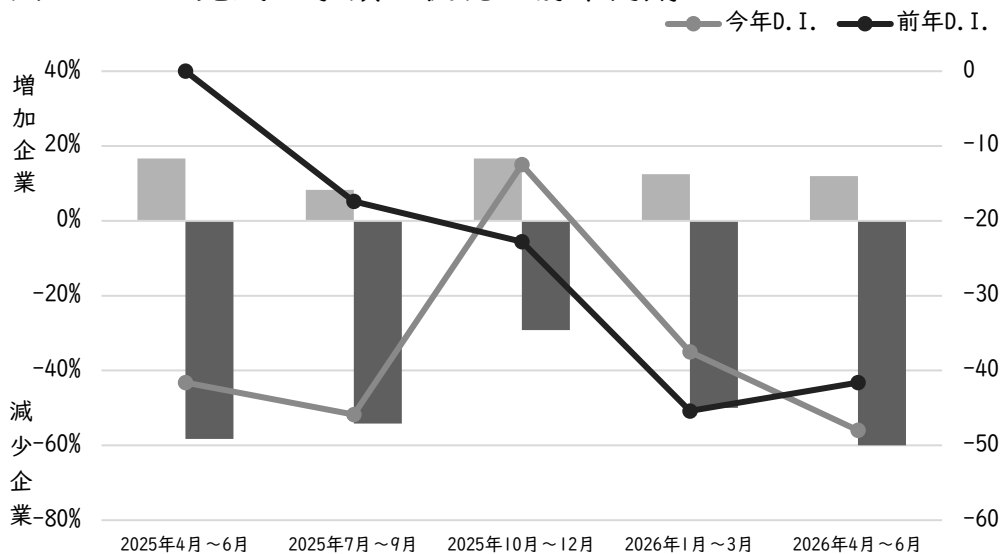
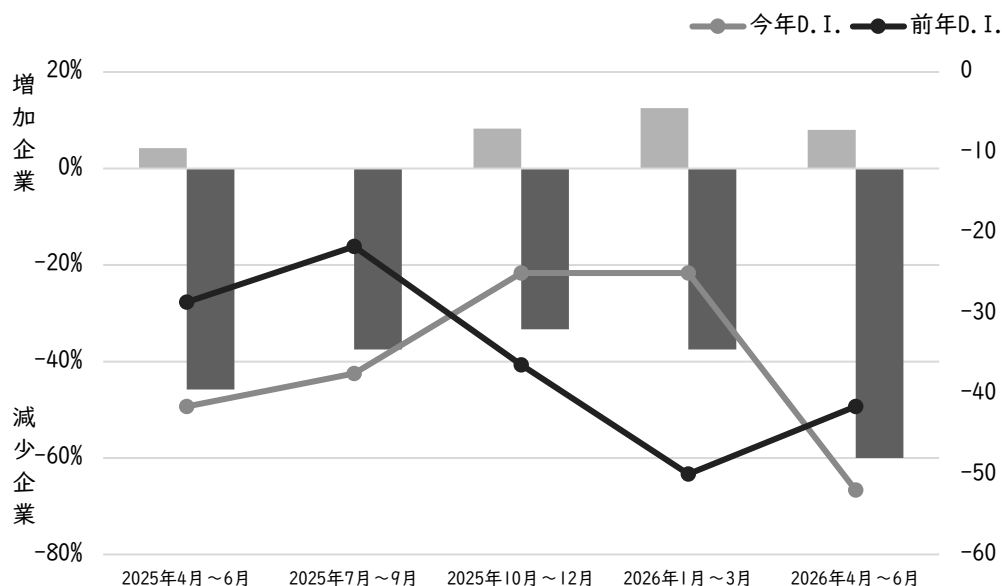


図 2 - 8 採算の状況－前年同期比－



小売業の動向

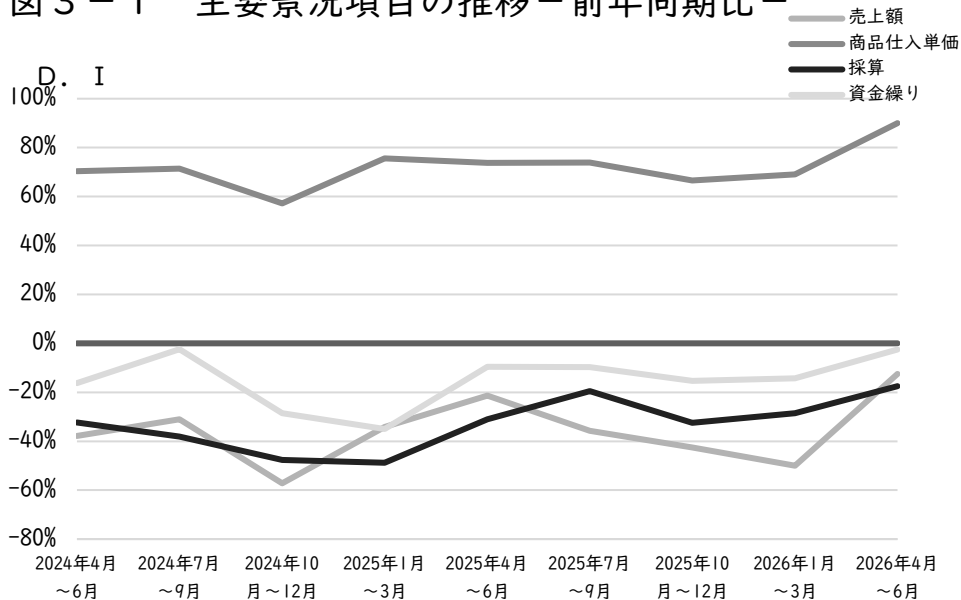
○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、 $\Delta 50.0 \rightarrow \Delta 12.5$ と37.5ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 23.3 \rightarrow \Delta 20.0$ と3.3ポイント上昇)
- ・採算DI値は、 $\Delta 28.5 \rightarrow \Delta 17.5$ と11.0ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 30.6 \rightarrow \Delta 33.3$ と2.7ポイント下降)
- ・資金繰りDI値は、 $\Delta 14.3 \rightarrow \Delta 2.5$ と11.8ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 20.5 \rightarrow \Delta 20.0$ と0.5ポイント上昇)

今期は、売上額DIと採算DIと資金繰りDIでマイナス幅が縮小した。

来期は、売上額DIと採算DIと資金繰りDIでマイナス幅の拡大が見込まれる。

図3-1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2025年4月～6月	2025年7月～9月	2025年10月～12月	2026年1月～3月	2026年4月～6月
売上額	$\Delta 21.4$	$\Delta 35.7$	$\Delta 42.5$	$\Delta 50.0$	$\Delta 12.5$
原材料仕入単価	73.8	73.9	66.6	69.1	90.0
採算	$\Delta 31.0$	$\Delta 19.5$	$\Delta 32.5$	$\Delta 28.5$	$\Delta 17.5$
資金繰り	$\Delta 9.6$	$\Delta 9.7$	$\Delta 15.3$	$\Delta 14.3$	$\Delta 2.5$

図 3 - 2 売上額の状況－前年同期比－

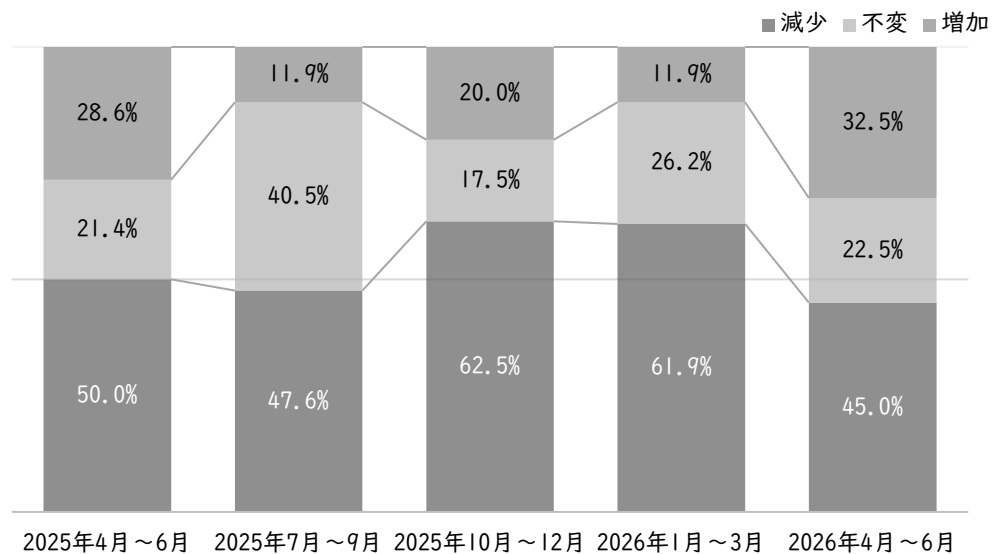


図 3 - 3 採算の状況－前年同期比－

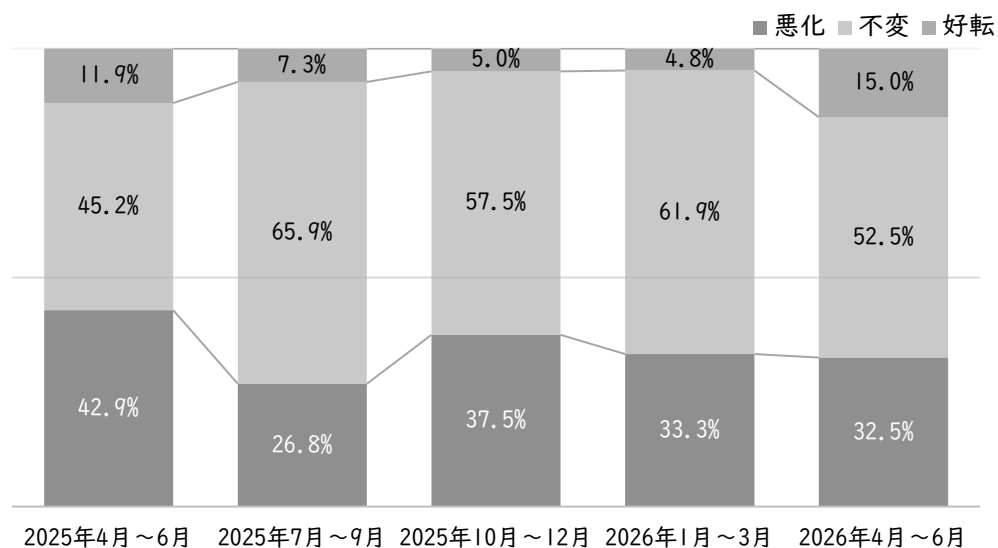


図3－4 設備投資の状況

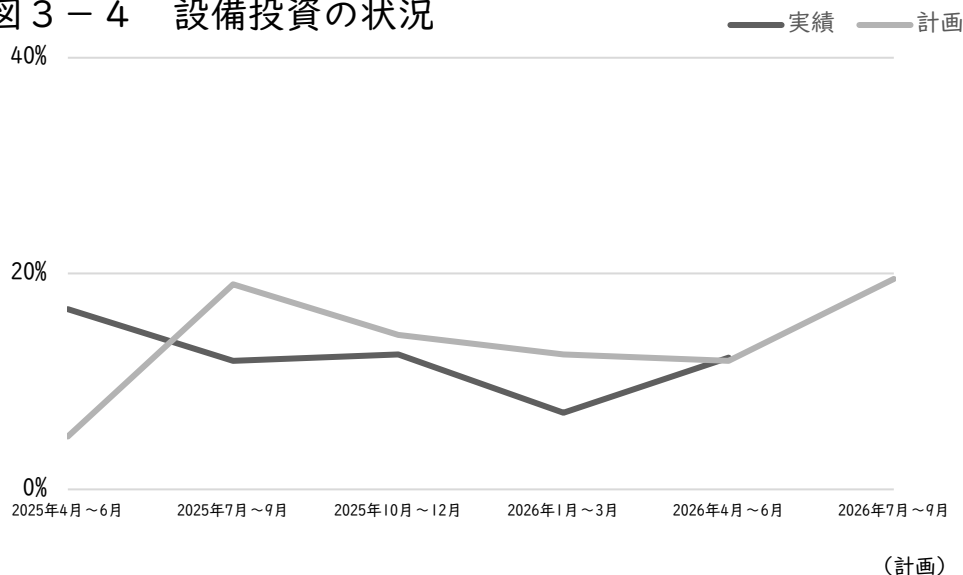


図3－5 経営上の問題点の状況（1位と1位～3位）

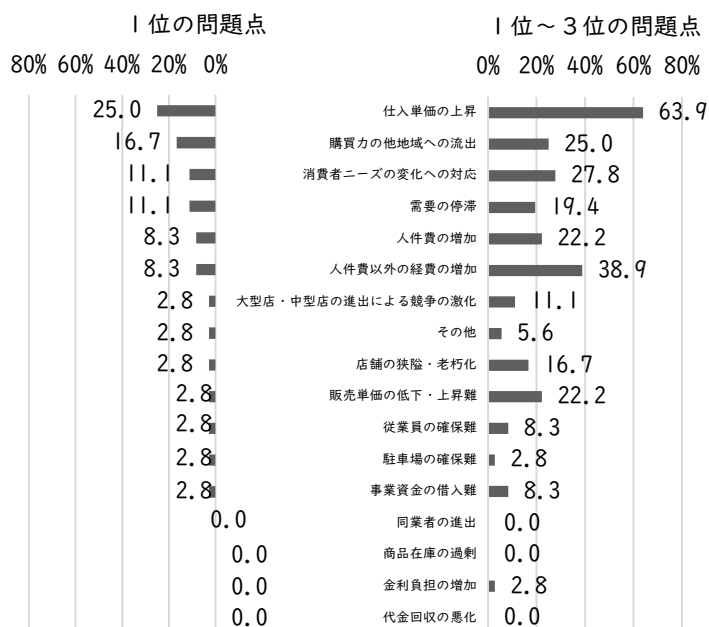


図3－6 経営上の問題点の推移
（1位の問題点・上位5つ）

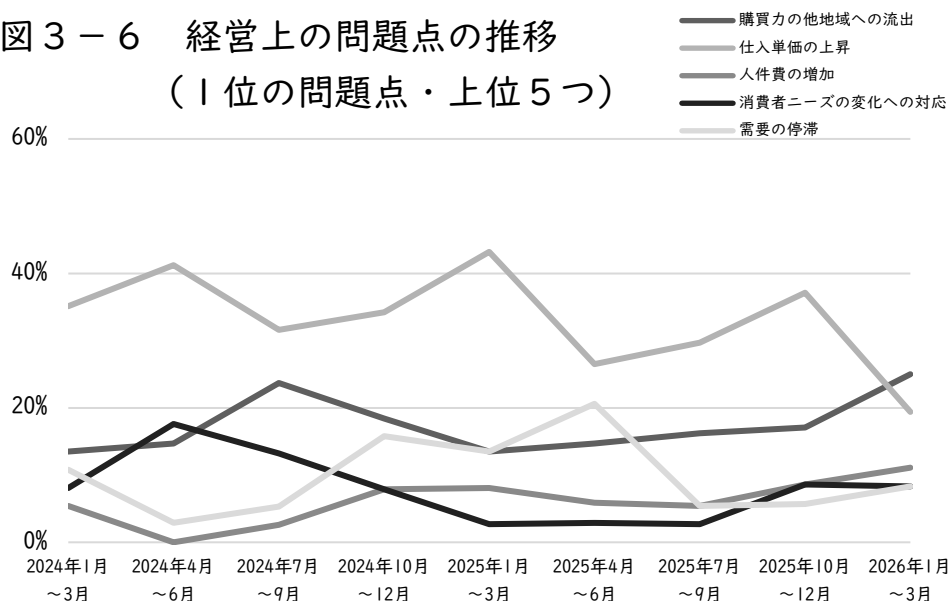


図3-7 売上額の状況－前年同期比－

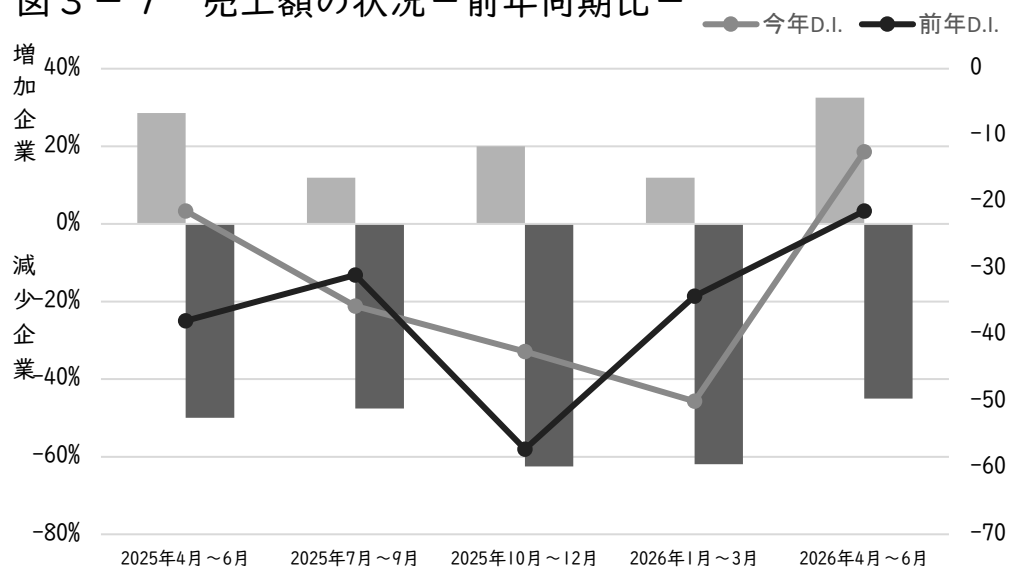
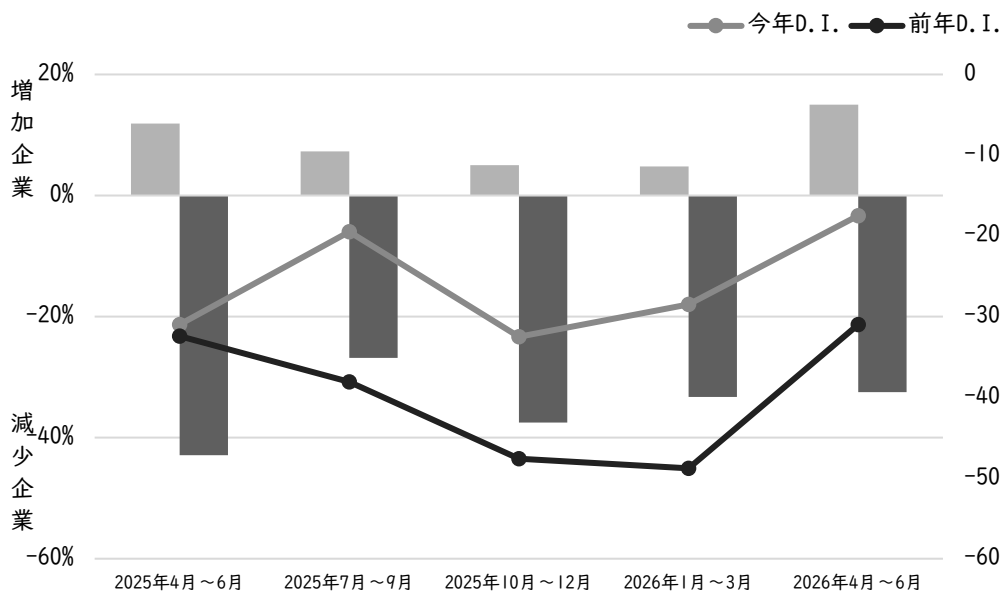


図3-8 採算の状況－前年同期比－



サービス業の動向

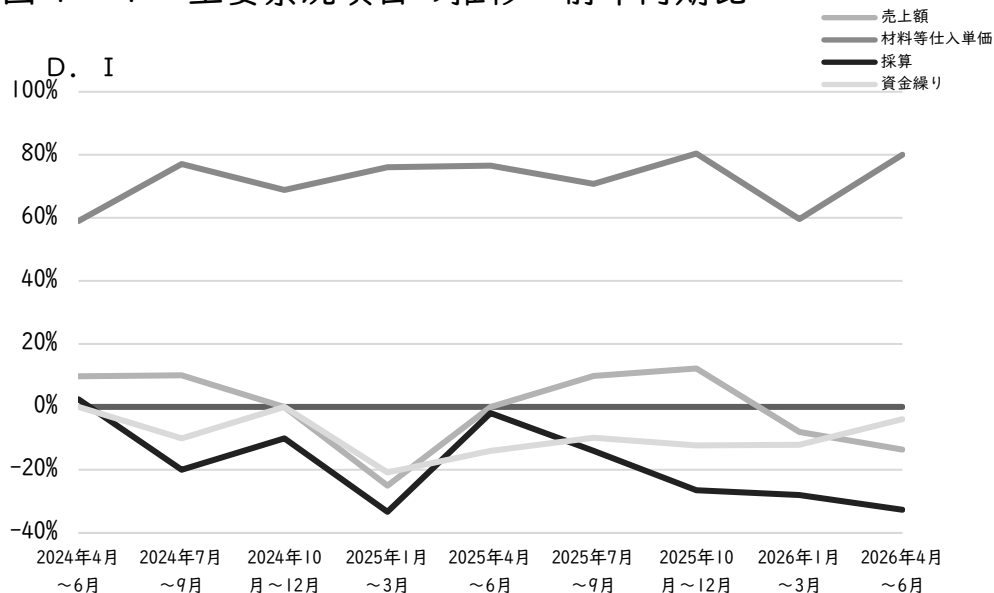
○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、 $\Delta 8.0 \rightarrow \Delta 13.5$ と5.5ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 8.9 \rightarrow \Delta 4.0$ と4.9ポイント上昇)
- ・採算DI値は、 $\Delta 28.0 \rightarrow \Delta 32.7$ と4.7ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 24.9 \rightarrow \Delta 26.0$ と1.1ポイント下降)
- ・資金繰りDI値は、 $\Delta 12.0 \rightarrow \Delta 3.9$ と8.1ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 13.5 \rightarrow \Delta 12.9$ と0.6ポイント上昇)

今期は、売上額DIと採算DIでマイナス幅が拡大し、資金繰りDIでマイナス幅が縮小した。

来期は、売上額DIがプラスに好転し、採算DIでマイナス幅が縮小し、資金繰りDIでマイナス幅の拡大が見込まれる。

図４－Ⅰ 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2025年4月～6月	2025年7月～9月	2025年10月～12月	2026年1月～3月	2026年4月～6月
売上額	0.0	9.8	12.2	Δ 8.0	Δ 13.5
原材料仕入単価	76.6	70.8	80.4	59.6	80.0
採算	Δ 2.0	Δ 14.0	Δ 26.5	Δ 28.0	Δ 32.7
資金繰り	Δ 14.0	Δ 9.8	Δ 12.2	Δ 12.0	Δ 3.9

図 4 - 2 売上額の状況－前年同期比－

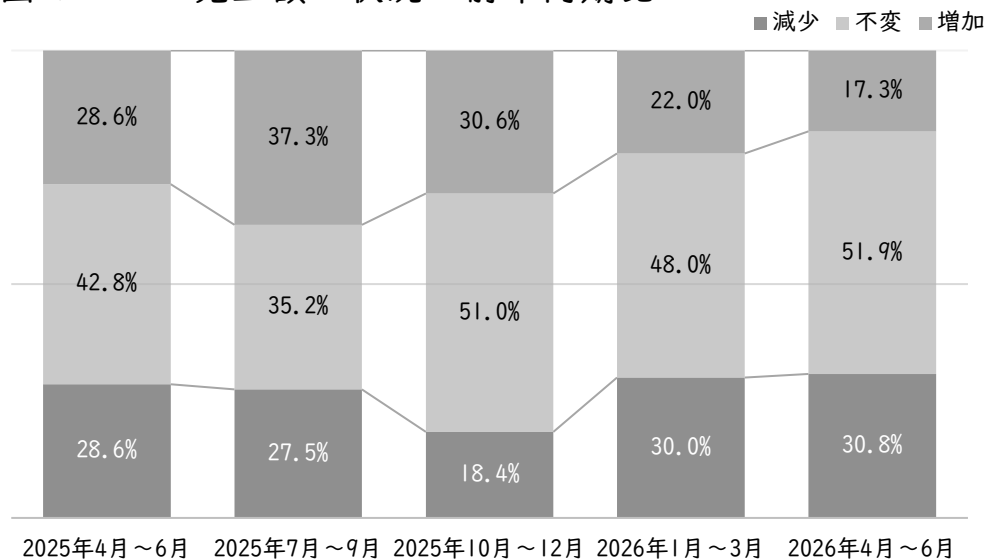


図 4 - 3 採算の状況－前年同期比－

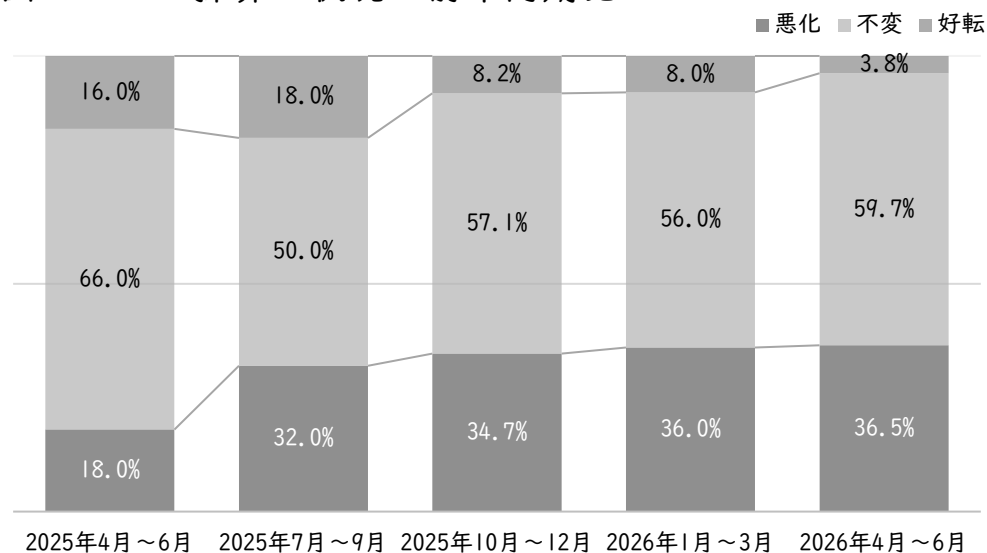


図 4－4 設備投資の状況

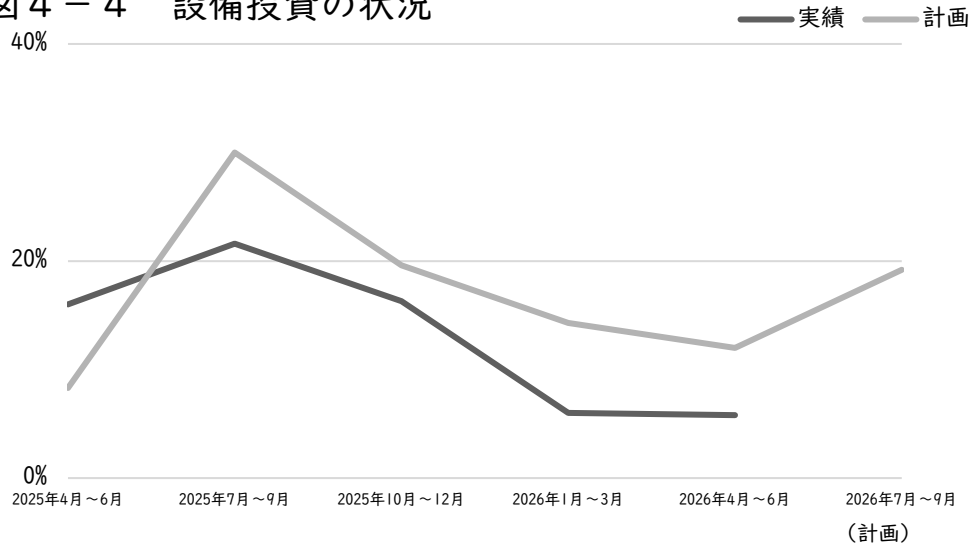


図 4－5 経営上の問題点の状況（1位と1位～3位）

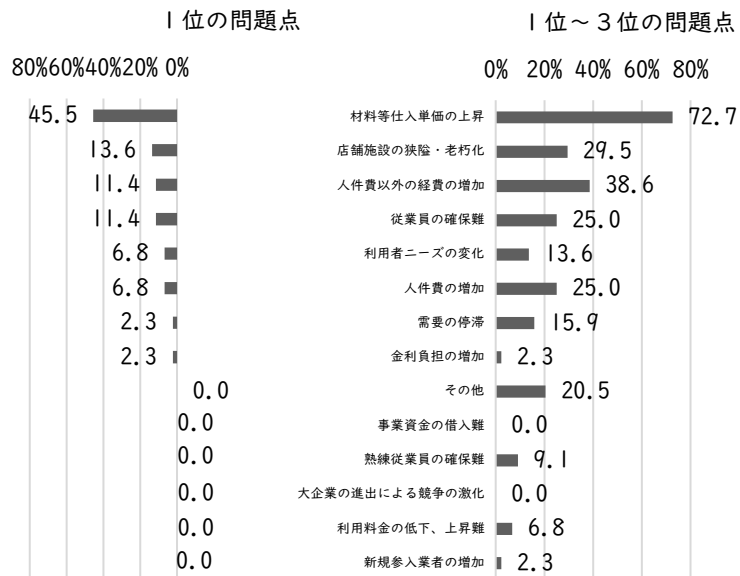


図 4－6 経営上の問題点の推移
（1位の問題点・上位5つ）

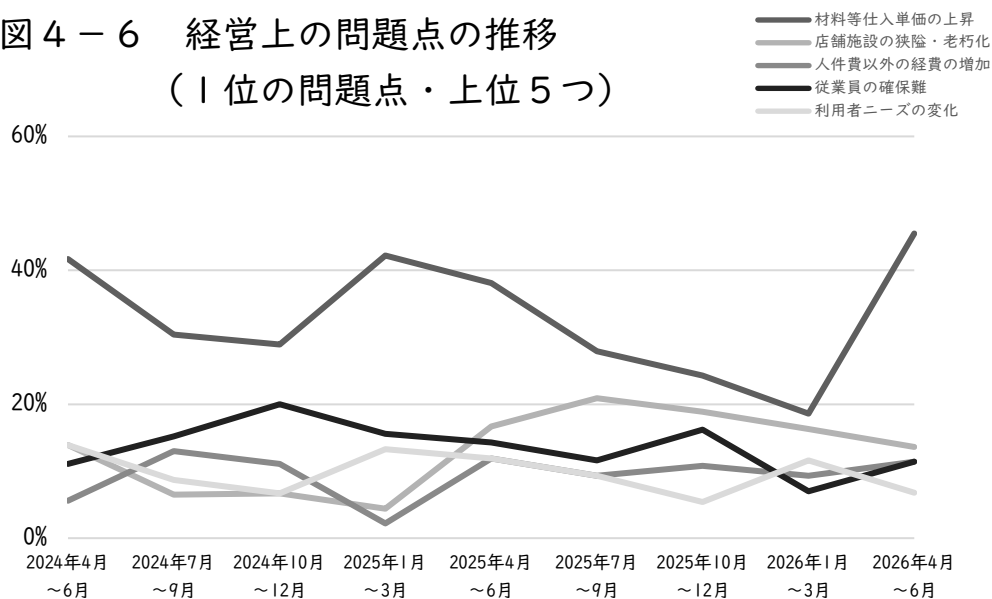


図4-7 売上額の状況－前年同期比－

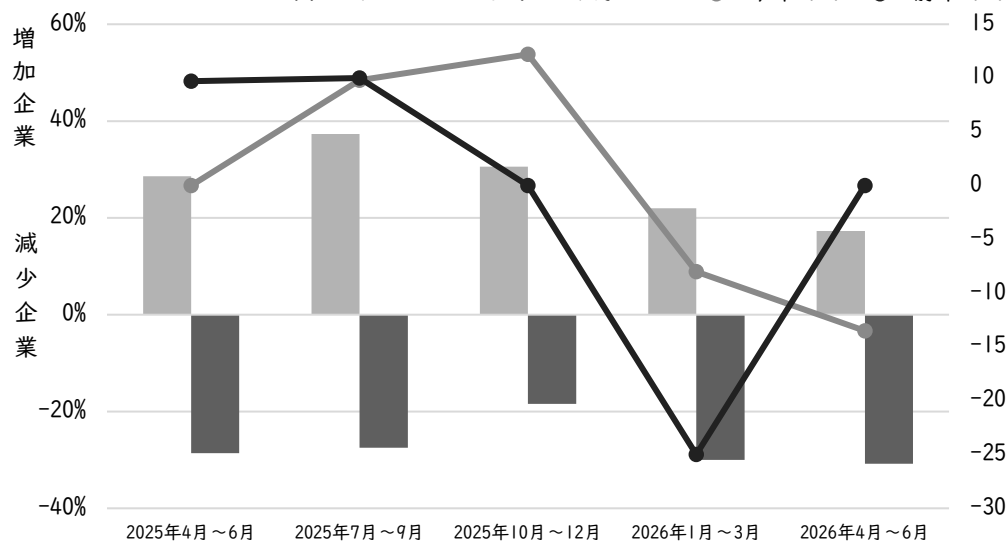
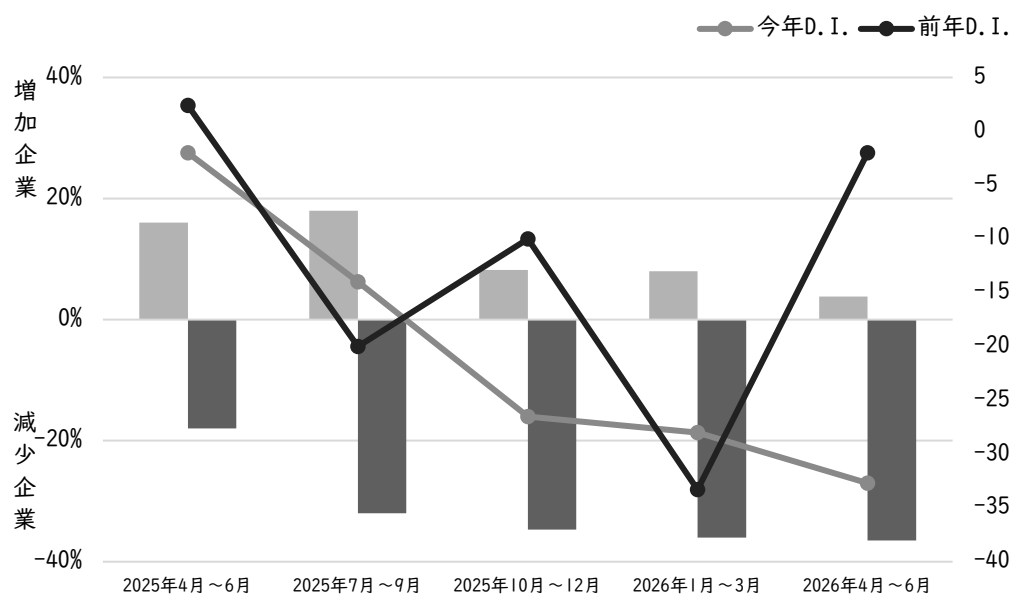
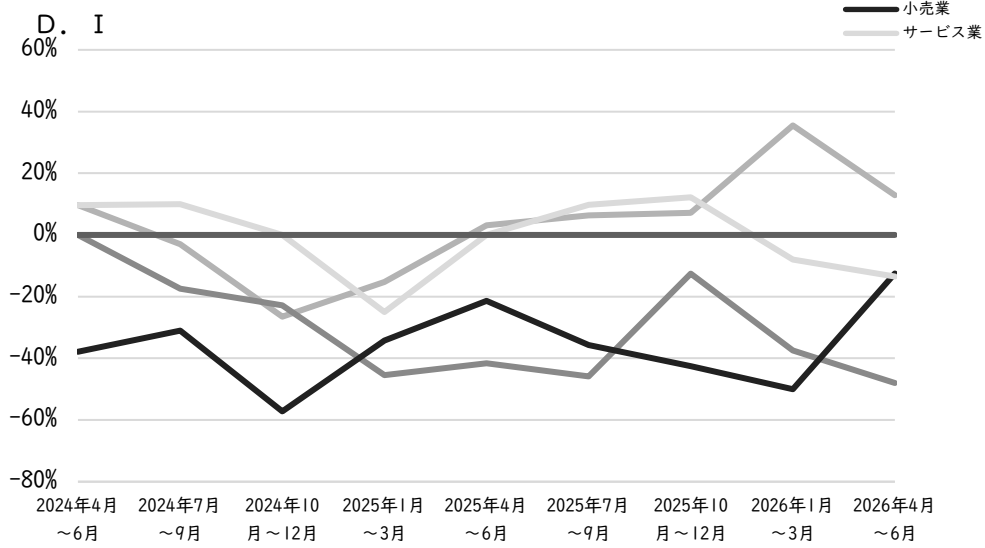


図4-8 採算の状況－前年同期比－



全産業の動向

全産業 売上（完成工事）額の推移－前年同期比－



全産業 採算の推移－前年同期比－

